

ジャワ島沖震地

被災地の復興へ奮闘

～ 興動館プロジェクト ～ インドネシア国際貢献プロジェクト



ボロボロの遺跡で氣勢をあげるメンバーたち

被災した村の復興を支援する「ビジネスマン」の活動を開始した。

「子ども支援」チームは被災したいくつかの小学校を訪問し、子どもたちとの交流を図った。一緒に縄跳びをしたり、遠足で小学校の近くを歩いたり、楽しく交流することを通じて子どもたちの笑顔を取り戻したいという狙いだ。また、原爆という悲劇から復興した広島を紙芝居で紹介することで、被災地の子どもたちも立ち直ろうとこれまでも懸命にがんばってきたのだと

「子ども支援」チームは被災したいくつかの小学校を訪問し、子どもたちとの交流を図った。一緒に縄跳びをしたり、遠足で小学校の近くを歩いたり、楽しく交流することを通じて子どもたちの笑顔を取り戻したいという狙いだ。また、原爆という悲劇から復興した広島を紙芝居で紹介することで、被災地の子どもたちも立ち直ろうとこれまでも懸命にがんばってきたのだと

笑顔に触れ感動 子ども支援



折り鶴の作り方を教えてもらって目を輝かす子どもたち

「子ども支援」チームは被災したいくつかの小学校を訪問し、子どもたちとの交流を図った。一緒に縄跳びをしたり、遠足で小学校の近くを歩いたり、楽しく交流することを通じて子どもたちの笑顔を取り戻したいという狙いだ。また、原爆という悲劇から復興した広島を紙芝居で紹介することで、被災地の子どもたちも立ち直ろうとこれまでも懸命にがんばってきたのだと

今後へ新たな意欲

「子ども支援」チームは被災したいくつかの小学校を訪問し、子どもたちとの交流を図った。一緒に縄跳びをしたり、遠足で小学校の近くを歩いたり、楽しく交流することを通じて子どもたちの笑顔を取り戻したいという狙いだ。また、原爆という悲劇から復興した広島を紙芝居で紹介することで、被災地の子どもたちも立ち直ろうとこれまでも懸命にがんばってきたのだと

「子ども支援」チームは被災したいくつかの小学校を訪問し、子どもたちとの交流を図った。一緒に縄跳びをしたり、遠足で小学校の近くを歩いたり、楽しく交流することを通じて子どもたちの笑顔を取り戻したいという狙いだ。また、原爆という悲劇から復興した広島を紙芝居で紹介することで、被災地の子どもたちも立ち直ろうとこれまでも懸命にがんばってきたのだと

「学校建設支援」チームの今回の目的は、全壊したケボン・タレン・キディル II 小学校の再建を支援すること。一クラス分の校舎建設事業費五千六百万ルピア（約七十三万円）は本学が負担し、現地の村人や職人と一緒に汗と泥にまみれながら基礎工事の建設作業に取り組んだ。倒壊した校舎の瓦礫を撤去する作業から始め、バケツリレーで基礎工事のコンクリートを流すなど、常夏の国インドネシアの炎天下で、作業を

まず瓦礫の除去

学校建設支援



学校建設のため、コンクリートをバケツリレー

「ビジネス支援」チームの目的は被災した村の経済的な支援を実現することだ。地産で工場が倒壊するなど、被害を受けた村では、商品の生産・受注が滞り、村人の雇用を確保できなくなっているケースが少なくない。

村人の雇用を確保

ビジネス支援

「ビジネス支援」チームの目的は被災した村の経済的な支援を実現することだ。地産で工場が倒壊するなど、被害を受けた村では、商品の生産・受注が滞り、村人の雇用を確保できなくなっているケースが少なくない。

「ビジネス支援」チームの目的は被災した村の経済的な支援を実現することだ。地産で工場が倒壊するなど、被害を受けた村では、商品の生産・受注が滞り、村人の雇用を確保できなくなっているケースが少なくない。

「ビジネス支援」チームの目的は被災した村の経済的な支援を実現することだ。地産で工場が倒壊するなど、被害を受けた村では、商品の生産・受注が滞り、村人の雇用を確保できなくなっているケースが少なくない。

「ビジネス支援」チームの目的は被災した村の経済的な支援を実現することだ。地産で工場が倒壊するなど、被害を受けた村では、商品の生産・受注が滞り、村人の雇用を確保できなくなっているケースが少なくない。

「ビジネス支援」チームの目的は被災した村の経済的な支援を実現することだ。地産で工場が倒壊するなど、被害を受けた村では、商品の生産・受注が滞り、村人の雇用を確保できなくなっているケースが少なくない。



国際シンポや講演会
石田学園100周年記念事業
学校法人石田学園は明治四十年、校祖石田米助翁によって創立されました。以来、本学園の一貫した建学の精神である「和を以て貴しと為す」を掲げ、国家社会に有為なる人材の育成に努めてまいりました。平成十九年にはいよいよ学園創立百周年を迎えます。その百周年を記念して、様々な記念事業に取り組み予定であります。（主な事業は下記の通りです）

- 100周年記念講演会・記念音楽会（10月予定）
- 「書物のルネサンス（仮称）」展（10月予定）
- 武田山・萩園祭（仮称）（10月予定）
- 記念式典・講演・レセプション（10月予定）
- 国際シンポジウム・NIBES研究会（10月予定）
- ホームカミングデー（11月予定）
- 陸上競技場フィールド全面人工芝設置（平成19年3月末完成予定）

活気づく興動館プロジェクト

学生企画の公認・準公認プロジェクト

夢を乗せてスタート 1期は9件を認定

学生が主体となり、ゼロから物事を立ち上げる興動館プロジェクト。

平成18年8月には本学が主催する「主催プロジェクト」に引き続き、学生の申請による「公認・準公認プロジェクト」もスタートした。

興動館はますます活気づいている。

スポーツを通じ活性化

公認プロジェクトBに認定されたのは「地域活性化プロジェクト Fan Loving People HIROSHIMA」。広島東洋カープ、サンフレッチェ広島、Jリーグサンタス、湧水製菓、広島メイプルズ、そのトップチームを応援する界のトップチームを応援する

立ち上げから九月、さらなる充実を見ている興動館プロジェクト。平成十八年度の第一期興動館公認プロジェクトには九つのプランが認定された。公認プロジェクトBが一つ、そして八つの準公認プロジェクトだ。

るイベント等を企画・実施し、地域住民の方々と協同して地域活性化を促進する。

十月には、広島本通商店街で広島東洋カープの試合観戦の呼びかけを球団マスコット・スライリとともにに行った。同時に地域のスポーツ振興を目的とした募金を行い、百円以上の募金者には「Fan Loving People HIROSHIMA」と刻まれたリストバンドを配布した。集まった募金は広島市スポーツ協会などに寄付を考えている。ほかにも、参加学生の一人がカープの名古屋遠征に同行して球団経営の手法を学ぶなど、プロジェクトは多様な展開を見せている。今後は広島東洋カープとサンフレッチェ広島の選手を招いた共同イベントなども開催していく予定だ。

HIRO-RANプロジェクト

平和な社会 目指し活動

準公認プロジェクトで積極的な活動を繰り広げているのが「HIRO-RANプロジェクト」。広島とイラン、そして世界へ。このプロジェクトでは、イラン・イラク戦争におけるマスタードガスの被害をはじめとする中東の諸問題や広島、長崎での原爆被害といったことから平和を考え、戦争のない世界を実現するためのネットワークづくりを目指している。

昨年引き続き、今年の八月六日にイランの方々とキャンパスに招き、昼食会や座談会を開催。また広島と長崎の両都市で被爆した人の悲劇を取り上げた映画を上映し、作品の監督と学生や教職員との討論会を実施した。

プロジェクトを主催する学生たちは九月に「ひろしま国際会議」でパネリストとして参加。さらに、十一月に広島市で開かれた平和シンポジウムに密着した平和をテーマとした作品を発表した。本プロジェクトは地域住民の方々の支持も集めており、平和への意識づけの取り組みは一定の成果をもたらしている。



イランの人たちを招き平和について考える座談会を開催

▼主催プロジェクト
本学が主催するプロジェクト。平成十八年度は一つの海外プロジェクトと三つの国内プロジェクトを実施。

▼公認プロジェクトA

学生からの申請によるプロジェクト。五十名以上の参加者を集め、興動館運営委員会が認められたプロジェクト。一プロジェクトに対し、最高一千万円まで費用を援助する。

▼公認プロジェクトB

学生からの申請によるプロジェクト。二十名以上の参加者を集め、興動館運営委員会が認められたプロジェクト。一プロジェクトに対し、最高一千万円まで費用を援助する。

▼準公認プロジェクト

学生からの申請によるプロジェクト。五十名以上の二十名未満の参加者を集め、予算の範囲内で支援することがある。

随想

一九六八年、二十代後半の私は、タイのバンコクから北西に車で三時間、カンチャナブリの町を訪ねた。市街地の西に広がる広大なイギリス人墓地に立ち、墓標に刻まれた生年と死亡年を、一つ一つ追っていった。ほとんどが二十歳前後であった。今年の九月にイギリスを訪ねた。ある会話の中で、カンチャナブリの墓地の話になった。現地で働くイギリス人のメディアに詳しい日本人によると、イギリスが日本批判をする際には、六十年以上前

のクワイ川鉄橋の悲劇を必ず持ち出し、日本人ならさもあると報道する傾向があるという。この町のイギリス人墓地には、太平洋戦争の初期に、日本がシンガポールを中心に捕虜としたイギリス兵を使い、炎天下の鉄道建設のための強制労働で犠牲になった二万人が眠っている。ナブリの墓地にたずみ、戦争は絶対にはじけないものと心に誓った。やがて大学教師の道に入り、「教養を二度と戦場へ送らない」を心に言い聞かせ、教壇に立った。そんな教師生活も三十数年がすぎた。前任の大学を定年で退職する二カ月前、日本は

戦う国へ傾斜を危惧

自衛隊をイラクのサマワへ派遣した。私の教師生活の中で、あつてはくなく、心のかきこえが、この国が、いつの間にか戦争の国へと変わっていくのではないかと思ってしまう。振り返ってみれば、二〇〇一年九月のアメリカで、テロ対策特別措置法

り、世界中に、そして、東アジア、とりわけ日本に緊張感が走った。核実験発表の十日後、奇妙な時間の致で、広島市は、国民保護法（二〇〇四）を受け、広島市民が核攻撃を受けた場合の被害想定（死者数）と避難計画の検討に入った。核廃絶を願う平和都市宣言をも

中山 修一



学生同士や地域住民とのつながりを深めた興動祭

で「興動祭」を開催し、学生同士や地域住民の方々とつながりをより一層深めた。今後は各プロジェクトの代表の学生が一堂に会する報告会を定期的に開催することも検討しており、各プロジェクトのさらなる活性化を図りたい。

興動館プロジェクト コーディネーター紹介

第9回

興動館スタッフの中山紘之さんは本学の卒業生。カフェ運営プロジェクト、武田山まちづくりプロジェクト、サクセスストーリー出版プロジェクトのコーディネーターを務める。学生たちの頼れる兄貴分です。

失敗恐れず チャレンジを



学生たちの頼れる兄貴分 中山 紘之さん

興動館プロジェクトは、立ち上げから一年半が経過し着実に発展を遂げてきました。「カフェ運営プロジェクト」は今年四月の店舗オープンから順調な滑り出しを見せ、「武田山まちづくりプロジェクト」では清掃活動や各種登山イベントを実施、また準公認プロジェクト「サクセスストーリー」出版の第一人者への取材が始まっています。学生にとつてはすべてが未知の世界。失敗を恐れず、最初の



と押しやることを心がけています。私は学生時代に大学祭実行委員会の委員長を務め、大学を盛り上げるイベントづくりに力を注ぎました。ひろしまフレイバーフェスティバルでよさこいへの出場を始めたのも私たちの代からです。試行錯誤の連続でしたが、仲間たちとアイデアを持ち寄り、企画を実現する楽しさを知った素晴らしい体験でした。学生たちにも、ぜひそうした感動を味わってほしいと思います。失敗したって構いません。失敗から学び、人間力を育成することこそが興動館プロジェクトの目的なのですから。

カフェ運営プロジェクト
興動館1階にあるカフェ、HUE Café「Time」を学生が主体となって運営していくプロジェクト。ビジネス感覚を磨き、地域交流を図る。

武田山まちづくりプロジェクト
本学がある安佐南区のシンボリック存在である武田山の自然を守り、その魅力を社会に伝えることを目指す。

サクセスストーリー出版プロジェクト
主に地元・広島政財界で活躍する方々にインタビューを行い、一冊の本にまとめて出版するプロジェクト。

を施行し、インド洋に海上自衛艦を派遣して以降、日本は、「再び戦争の国」へと大きく舵を切った。私の教師生活もあと数年、「教養を二度と戦場に送らない」を心に言い聞かせ、教壇に立ちたいと思う。戦後六十年にわたって平和を希求してきたはずのこの国が、いつの間にか戦争の国へと様変わりをはじめた。教育者・研究者にできること、それは、日々向かい合っている夢多き学生たちに、戦場に行くことを強制しない、よい社会・世界の仕事場を創造することではないかと思いつつ、日々は過ぎていく。

（教授・地理学 南アジア経済ほか）

広がる卒業生との交流

企業トップが集う「OB・OG経営者懇談会」開く

十一月十九日、本学興動館において、企業のトップとして活躍されている本学卒業生二十名が集い、「第二回広経大OB・OG経営者懇談会」が開催された。

最初は、スポーツ施設をはじめ、中四国の私立大学では最高級の図書館や、フ

ルデジタル設備のスタジオを備えたメディア情報センターなどの見学会が行わ



れ、見学者からは本学のその発展ぶりに驚嘆の声が上がっていた。
見学会終了後、企業財務について研究をされている渡辺昌彦教授より「企業経営におけるビジネスリスク対策について考える」と題して、リスク対応の具体的な事例から見た経営への影響、リスク対応のための経営体制等について講演が行われ、その後、白熱した質疑応答があった。
続いて、石田恒夫学長から挨拶と大学の現況報告があり、大学を取り巻く環境の変化について説明した上で、「卒業生の皆様方にも、学生として本学の未来のために、今後ともご協力をお願いいたします」と呼びかけた。

最後に行われた興動館のカフェ「Time」での懇親会は、川村専務理事の乾杯を皮切りに終始和やかなムードの中で進行し、第二回広経大OB・OG経営者懇談会は盛況のうちに閉会となった。

第36回同窓会総会を開催

265名が集い盛大に

十月十四日、広島全日空ホテル（中区）において、第三十六回同窓会総会と懇親会が総勢二百六十五名の出席を得て開催された。はじめに竹村雅之同窓会長、石田恒夫学長より挨拶があり、続いて、平成十

七年度事業報告、会計報告、監査報告、平成十八年度事業計画を竹村会長が報告し承認された。また、この度、スイスローザンヌで開催された世界トリアスロン選手権ローザンヌ大会で五位入賞するなど、数多くの

大会で活躍されている同窓生の福元哲郎氏（平成六年経済経済学科卒）に表彰と記念品の贈呈が行われた。総会終了の後、会場は現役応援団のブラスバンドによるオープニングファンファーレとともに懇親会へと

移り、今回の総会の実行委員長である上田賢崇氏（平成七年経済経済学科卒）の乾杯により懇親会が盛大に開催された。



広島全日空ホテルで開かれた同窓会総会と懇親会

九月二十八日、第十一回前期学位記授与式が、本学大会議室において、厳粛に執り行われた。

晴れて経済学士となるのは経済学科十二名、経営学科七名、国際地域経済学科七名、ビジネス情報学科二名の二十八名で、教職員と保護者が見守

祝福受け28名集立つ 厳粛に前期学位記授与式

る中、一人ひとり学長から学位記が手渡された。

続いて式辞に立った石田学長は「学長室に中国の禅書に「上善如水」とある。水は柔軟で、下へ下へ流れていく。自分自身が成長する道はただ一つ、自分が自分で努力するしかない。どんなに素晴らしい人でも、これを自分に代わってやってはくれない。気のうちに終った。」

い、という意味です。どうか自分自身の力で意義あるすばらしい人生を切り拓き、次代の日本を支える人材となってください。と、卒業生を激励した。

卒業生は新たな門出の祝福を受け、和やかな雰囲気の中、式は終りました。

親睦を深め大好評

興動館で「女性ネットワーク」——託児コーナーも設置——



実技を交えた講演で盛り上がるOGたち

十一月十二日、本学興動館において女性の卒業生が集う「第二回広経大女性ネットワーク」が開催され、昭和五十四年度から平成十七年度までの卒業生三十五名が参加した。

はじめに、石田恒夫学長から大学の現況報告を兼ねて参加者への挨拶があり、続いて、本学の太田雅子助教による講演「ダンスム

「Time」で立食パーティーが行われた。からだを動かしながら、心の問題を解決していく心理療法として、実技を交えた講演が行われ、参加者からは、「自分の心を動かさなければ、自分の心を変えられない」という内容が聞かれた。といった声が聞かれた。

講演後は興動館のカフェ「Time」で立食パーティーが行われた。からだを動かしながら、心の問題を解決していく心理療法として、実技を交えた講演が行われ、参加者からは、「自分の心を動かさなければ、自分の心を変えられない」という内容が聞かれた。

講演後は興動館のカフェ「Time」で立食パーティーが行われた。からだを動かしながら、心の問題を解決していく心理療法として、実技を交えた講演が行われ、参加者からは、「自分の心を動かさなければ、自分の心を変えられない」という内容が聞かれた。

教育問題で情報交換 教職ネットワーク



十二月九日、本学を卒業後教職に就かれた先生方を対象とした、「第二回広経大教職ネットワーク」が本学大会議室において開催された。

このネットワークは、様々な教育問題について共有し合い、その解決に向けての情報・知見交流の場となることを目的とした。

その後、学生会館五階学生食堂「ジョイ」において懇親会が開かれ終始和やかなうちに終了した。

就職状況など報告 保護者会の秋季委員会

マナー向上への取組及びボランティアについて、中村興動館副館長から興動館



平成十八年度保護者会秋季役員会が、去る十月二十四日、砂原保護者会長をはじめ五十八名の出席のもと、八丁堀（中区）で開会された。

この役員会では、保護者会規約の第一條により、保護者会総会に代わる会となるものである。

役員会では、会長の挨拶、川村専務理事の挨拶に続き、柳川学務センター部長から今年度前期成績集計結果と成績不振者への対応状況、クラブ活動の主な戦績、

教育プログラムの概要とその現況について、五百木キヤリアセンタール長から各種進路・就職プログラム、現在の就職環境と過去三年間の主な就職先について学事報告があった。

役員会終了後の懇親会では、本学がテレビで取り上げられたものの一部をビデオで紹介するなど、和気あいあいのうちに終了した。

現場を経験 意欲新たに

18年度 インターンシップ

5名が体験記



私は大学に入学した当初から、海外インターンシップの研修先として中国を希望していました。というのも、大学一年生で初めて留学生と交流をしたとき、中国の留学生が、一番興味深く、彼らと交流を続けていくうちに、日本人と中国人の国

企業インターンシップⅡ（海外） 語学よりも積極性

国際地域経済学科3年
西田 清人さん
(広島県/広島工業大学高校出身)
研修先→大連三島食品有限公司



研修では現地従業員との言葉の壁に苦労しましたが、良い人間関係を築くことは語学よりも積極性が重要であるということを経験から学びました。言語が通じなくても、相手に伝わるように熱意が強いれば、相手のその意味を理解しようと真剣に聞いてくれるということを経験を通して感じ

取ることができました。私は、今回の海外研修で、職場体験以外にも中国での結婚式参列や、バスの横転事故現場に遭遇し、救助活動を行うなど、様々なことを体験しました。一カ月間に及ぶ海外での生活から良いことも悪いことも経験し、ここから得たことを残していききたいと思います。私にこのような機会を与えてくださった方々に心から感謝します。

企業インターンシップⅡ（海外） 活躍する日本企業

国際地域経済学科3年
張 帆さん
研修先→Simizu Corporation, International Division



私はシンガポールで海外インターンシップを経験して、この国の多様性や、なんとも言いえないラックスできる雰囲気や大好きになりました。中国重慶出身の私は、日本企業の活躍をいろいろと知りたかった。昨年の国内インターンシップに続いて、今年も清水建設株式会社の海外支店シンガポールオフィスで研修を受けました。シンガポールは、クリーンで、緑の熱帯植物やカラフルな花々がたくさん植えられ、高層ビル

群や歴史的な建造物が美しいガーデンシティ（庭園都市国家）です。中国系、マレー系、インド系、欧米系など、たくさんの民族が暮らし、たくさんの日本企業が活躍している多民族国家で、異国情緒あふれる国で、インターンシップにおいて、日本のゼネコンの役割がとても重要で、この国の人々が豊かになるために貢献していることを研修を通じて学びました。

三週間の研修でしたが、シンガポールは、私にとって生まれ故郷の重慶、留学先の広島に続く第三の故郷になりました。今回の研修で学んだことを、これから植物や生活に活かしていきたいと思っています。

企業インターンシップⅠ（国内） 現実の社会を実感

経営学科2年
城下 友里恵さん
(広島県/比治山女子高校出身)
研修先→三島食品株式会社



私は、人気商品のふりかけ「ゆかり」をはじめ、レトルト食品などを生産している三島食品株式会社にインターンシップ研修を体験しました。研修では営業に同行したり、工場で製造実習などをしたりと、様々な業務を経験することができました。すべてのことが初めての体験であり、戸惑いもありましたが、普段の学生生活では経験することのない社会人の生活を体験したいと思っています。

世界を実感することができました。インターンシップに参加するときの初めの目的は、人と接すること、相手がどのように自分のことを考えているのか、そんなことが気になっていました。しかし、実際の研修では一週間という短期間なので、自分を変えることはできませんでしたが、何事も前向きに考え、人と向き合うことに大きな意義を感じることができました。これからは、先入観や固定観念によって一部分だけを見るのではなく、世の中全体を見渡し建設的な思考力や判断力のある人材になれるよう努力していきたいと思っています。



こうして本学の国際化を根底から支えているのがNIBESだ。NIBESとは、大学教育の国際化を図る組織で、経済・経営系の学部をもつ世界十六カ国の大学で構成されており、本学は日本で唯一の加盟国である。本学国際交流室長のジョージ・R・ハラダ教授は、過去五年間NIBES

六月に開催されたNIBES総会
去る平成十八年六月、NIBESの総会がデンマーク・オデンセのサンデンマーク大学で開催された。総会ではビジネスに関する研究セミナーが開かれ、またNIBES加盟校間での新しい教育の取り組みにつ

進み行く教学の国際化

●●● ニーズに応え多彩な展開 ●●●

短期留学の新プラン
次年度にも導入
本学は世界十六カ国二十四校に広がる姉妹校・協定校のネットワークを持つ。それらを活かした長期・短期間の海外研修・留学プログラムを豊富に設け、例年多くの学生が海外で学んでいる。また、留学生も多数受け入れ、さらに外国語で開講される科目も豊富に用意されている。教員の研究の国際性も、それら高いレベルにある。それらの総合的な取り組みが、西日本トップクラスの国際性を誇る

大学という高い評価につながっている。現在、短期留学メニューの多様化を検討しており、その目的は、言語教育にとどまらず異文化体験を重視したプランの拡充だ。例えばクリスマスに現地のホームステイファミリーと雪山でスキーをしたり、南海の島国でサーフィンに挑戦したりと、現地の人と交流を深めて文化や生活習慣を学ぶチャンスも豊富に設け、学生が好きな国で楽しく学ぶようにする。新プログラムは早ければ次年度から導入する予定だ。

留学生の受け入れで
キャンパスを国際化
こうした本学の国際化を根底から支えているのがNIBESだ。NIBESとは、大学教育の国際化を図る組織で、経済・経営系の学部をもつ世界十六カ国の大学で構成されており、本学は日本で唯一の加盟国である。本学国際交流室長のジョージ・R・ハラダ教授は、過去五年間NIBES

また現在、NIBESでは、ドイツのフランクフルト芸術工科大学、スロベニアのアリアナ大学、スロベニアのトリヴル高等商科大学、ポルトガルのISTリスボンが協力し、ビジネスを学ぶ大学院レベルのプログラムを設けている。学生は四つの大学のうち一つに入学し、二つ以上の大学で一定期間を学ぶ。異なったビジネス環境及び文化圏で学ぶ、国際的な活躍するための力を養う。このようなプログラムを環太平洋の国々で実施できればという構想が議題に上がった。まずはアメリカ、メキシコ、インドネシアなどの大学と連携し、実現を目指す。

世界に広がるネットワークを教育に活か
し、西日本トップクラスとも言われる本学の国際交流の取り組み。学生の多様な学習ニーズに応えるために、今、さらなる充実化が検討されている。進み行く教学の国際化について紹介する。

なかでもSTEPはNIBESの象徴的な取り組みとされている。STEPとはShort Term Exchange Programsの略で、交換留学生受入プログラムのこと。本学にはSTEPを利用して多くの留学生が学んでおり、キャンパスの国際化に貢献している。また小学校で英語教育が活発になる中、STEPで受け入れた留学生を本学近隣の小学校に講師として派遣する取り組みも定着しつつある。これは教育の国際化と地域への貢献が両立した好例と言えるだろう。

また会議も持たれた。議題に上がったのは、NIBES加盟校間のデュアル・ディグリープログラム（普及強化の取り組み）だ。これはNIBES加盟校に一年間留学すること、留学先の大学と所属する大学の両方の学位を最短四年間で取得できる制度。大学院前期課程まで、一年間の留学で二つの大学院の学位を最短二年間で取得できる。現在ヨーロッパ及びメキシコの加盟校を中心に、これを加盟校全体で運用できるように発展させる予定だ。



ジョージ・R・ハラダ教授

また会議では、ビジネスプランコンテストを世界規模で開催することも検討された。平成十九年度にはアメリカのブリガムヤング大学でコンテストを開催することが決まっている。本学からの学生の派遣も想定しており、その取り組みを奨励プロジェクトにつなげていきたいと考えている。

来年度のNIBES総会は広島で開催される予定。それまでにどれだけの企画が実現しているか、期待が膨らむ。

インターンシップ先 企業一覧

- 企業インターンシップⅡ（海外）（5社の企業に8名参加）
H.I.S. TOURS USA, INC.
Nippon Travel Agency Hawaii Inc.
Penta-Ocean Construction Co. Ltd.
Shimizu Corporation International Division
大連三島食品有限公司
- 企業インターンシップⅠ（国内）（11社の企業に25名参加）
オタフクソース株式会社
株式会社アステイ
株式会社アンデルセンサービス
株式会社石崎本店
株式会社ウッドワン
株式会社デオデオ
株式会社日本旅行
清水建設株式会社広島支店
西川ゴム工業株式会社
広島プリンスホテル
三島食品株式会社
- 能力開発科目国内インターンシップ
（70社の企業に111名参加）
ウツミ屋証券株式会社
愛媛県庁
株式会社21
株式会社イーマック
株式会社インデック
株式会社オフィスミツヒロ
株式会社オンワード樺山
株式会社サンフレッチェ広島
株式会社情報サービス
株式会社総合オリコミ社
株式会社体育社
株式会社中国新聞社
株式会社天満屋広島アルパーク店
株式会社ハーティウオンツ
株式会社バルコムモータース
株式会社広島銀行
株式会社広島全日空ホテル
株式会社ひろしまタウン情報
株式会社広島マツダ
株式会社フジトラベルサービストムズ緑井営業所
株式会社プロバ
株式会社松江浜乃木自動車教習所
株式会社ユアーズ
株式会社リクルート中国支社
かめや釣具株式会社
カルビー株式会社スナックカンパニー広島工場
監査法人 トーマツ
呉市役所
呉信用金庫
コクヨ中国販売株式会社
財団法人広島観光コンベンションビューロー
崎田行政書士事務所
自衛隊
社会福祉法人燈心会デイサービスセンター三滝苑
税理士法人安部事務所
ダイキ株式会社
中電環境テクノス株式会社
中電プラント株式会社
広島市安佐南区役所
広島市 西公民館
広島市 こども図書館
広島市農業協同組合
広島市船越公民館
広島市三滝少年自然の家
広島信用金庫
広島トヨタ自動車株式会社
広島トヨペット株式会社
ホテルセンチュリー21広島
丸和不動産有限会社
三菱UFJ証券株式会社広島支店
メガネの田中チェーン株式会社
有限会社栗原デザイン
有限会社リブコム
株式会社クロストーク
株式会社ソルコム
株式会社ビジネスソフト社
富士通オフィス機器株式会社
株式会社アサツディ・ケイ中国支社
株式会社紀伊國屋書店広島店
株式会社中国新聞広島支社
株式会社中国博報堂
株式会社広島朝日広告社
株式会社ひろしまケーブルテレビ
株式会社広島ホームテレビ
株式会社ふれあいチャンネル
広島市放送局広島支社
広島テレビ放送株式会社
ホームテレビ映像株式会社
丸善株式会社広島支店
株式会社フレスタ

課題に挑戦 成長を実感

能力開発科目国内インターンシップ

夢実現への一步

ビジネス情報学科3年
中川 祐一さん
(広島県・呉商業高校出身)

研修先→富士通オフィス機器株式会社



コンピュータ関係の仕事に就く。それは中学時代からの変わらない夢です。夢を叶えるために、高校・大学は情報系を専攻とす。大学に所属し、様々な授業を通じて情報関連の知識を身につけてきました。また、私はコンピュータ関連の資格取得に力を入れており、大学入学時に目標を立てた「MOE」→「初級システムアドミニストラータ」など多数の資格を取得しました。そしてコンピュータ関係企業の実際の仕事内容や雰囲気も知っておくことも必要だと思

い、今回のインターンシップ研修に参加しました。研修内容の中では、最終日にインストラクター用の資料作成を、私自身で内容を考え、独力でやり遂げた事が大変印象に残っています。読み手にわかりやすいように資料を作成することの難しさを、身を持って体験できました。他にも百二十名分の研修会場の整備、画像編集ソフト「Photoshop」のセミナー受講など、研修中は常に仕事を与えられ、とても充実したものでした。

研修中は心の底から楽し、本当にやりがいを感じました。苦にならないと感じました。そして研修を通じて夢がより現実に近いと感じることができました。また、どのような職種でもコミュニケーション能力が必要だといことがわかりました。知識ももちろん必要ですが、コミュニケーション能力が、職場にうまく溶け込むことは難しく、また、仕事はお客様がいてこそ成り立つもので、お客様に満足していただけるよう心がけたい、すぐにお客様は離れると思います。研修報告では代表として研修報告をさせていただきます。先生方や企業の方と話をすることにより、相手の良い部分を素直に褒めることの重要性を感じました。これから相手の良い部分を素直に褒めることのできる人間になりたと思います。これもコミュニケーション能力の一つだと感じました。このようにインターンシ

能力開発科目国内インターンシップ お客様を第一に

メディアビジネス学科3年
宮本 真妃さん
(広島県・呉商業高校出身)

研修先→株式会社広島朝日広告社



私は、メディアビジネス学科でメディアに関することを勉強していくうちに、広告業界に興味を持つようになり、インターンシップに参加しました。研修先は、株式会社広島朝日広告社です。研修内容は、クライアントの要望を聞き、その要望に基づいて広告の企画、制作、発表までの一連の流れを学びました。また、クライアントの要望を聞き、その要望に基づいて広告の企画、制作、発表までの一連の流れを学びました。また、クライアントの要望を聞き、その要望に基づいて広告の企画、制作、発表までの一連の流れを学びました。

研修先は、株式会社広島朝日広告社です。研修内容は、クライアントの要望を聞き、その要望に基づいて広告の企画、制作、発表までの一連の流れを学びました。また、クライアントの要望を聞き、その要望に基づいて広告の企画、制作、発表までの一連の流れを学びました。また、クライアントの要望を聞き、その要望に基づいて広告の企画、制作、発表までの一連の流れを学びました。



熱心に授業を受ける市商の生徒たち

毎年、内容の充実を圖つての大学インターンシップをはじめとした高大連携授業。今後ますます本学と高校における相互間の教育効果向上に向け、より一層充実させていきたい。

本学では、大学での学習内容を理解し進路選択に役立てもらうとともに、高校での学習意欲の向上につながる。本学の教員が高校生を対象に授業を行う高大連携授業を積極的に展開している。

去る八月八日、その高大連携授業の一つである大学インターンシップを本学において実施した。今回は広島市立広島商業高等学校二年生二十七名に、本学経営学科教員三名が「赤字経営のコンビニ」(THE SEI-SHO)をどうやって黒字化するかと、というテーマで授業を行った。

はじめに、細井謙助教授から、コンビニエンスストアの経営が赤字であるという仮定のもと、その事業計画の概要、店舗の特徴・強み、マーケティングで発表を行った。

細井助教授による審査の結果、最優秀賞・優秀賞・特別賞を発表、記念品が贈呈され、短時間でいろいろな企画・アイデアが出て頼もしかった。さまざまな場面でも面白い発想が出る動に移せると皆さんの知識となり、皆さんの今後の勉学の参考となり、ますます励まされることを期待します。またと講演です。

コンビニ経営を学ぶ 市商と高大連携授業

あり、生徒たちに「赤字のコンビニを黒字化せよ」という課題を与えた。そして、永田靖晴講師、山内昌斗講師とともに、マーケティング、マネジメント、アカウンティングの各分野でそれぞれ七十分の講義を行った。続いて生徒たちは、六つのチームに分かれ、講義の内容を参考にし、売り上げ、人件費、広告宣伝費などのデータを基に、どうすれば赤字のコンビニに利益を出すことができるのか、問題解決に向けて自然な議論を展開しながら経営計画書を作成。最後に各チームで発表を行った。



12年間の草刈りに 国交省から表彰状

岡本ゼミの学生が継続奉仕

岡本貞雄教授ゼミの学生たちは、安芸高田市にある本学の研修センターで毎年九月月上旬に実施している合宿において、土師ダム湖畔周辺の草刈を十二年続けて行ってきた。その活動に対して、国土交通省中国地方整備局土師ダム管理所長より「河川愛護月間」に関わる表彰を受け、去る七月二十日、学長室において、表彰式が行われた。

「河川愛護月間」とは、国民の河川愛護意識を醸成することを目的とした運動である。岡本ゼミでは今後もこの活動を地域へのボランティアとして続けていく予定だ。

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房



岡本貞雄教授ゼミの学生たちは、安芸高田市にある本学の研修センターで毎年九月月上旬に実施している合宿において、土師ダム湖畔周辺の草刈を十二年続けて行ってきた。その活動に対して、国土交通省中国地方整備局土師ダム管理所長より「河川愛護月間」に関わる表彰を受け、去る七月二十日、学長室において、表彰式が行われた。

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

●陸上競技部
上チャンピオンシップ
「ハンマー投」安留祐樹
3位「円盤投」樽岡秀樹
5位「八百打」田房

サークル戦績

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

●硬式野球部
平成18年度全日本学生
マニス選手権大会出場
●ソフトテニス部
マニス選手権大会出場
●バスケットボール部
マニス選手権大会出場
●バレーボール部
マニス選手権大会出場
●卓球部
マニス選手権大会出場
●水泳部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場
●剣道部
マニス選手権大会出場
●柔道部
マニス選手権大会出場
●空手道部
マニス選手権大会出場
●少林寺拳法部
マニス選手権大会出場
●射撃部
マニス選手権大会出場
●銃剣道部
マニス選手権大会出場

キャンパスに 笑顔 笑顔 笑顔

盛大に経大祭「SMILEIZM」



去る十一月十一日(土)・十二日(日)の両日、第39回経大祭が開催された。今回のテーマは「SMILEIZM(スマイルイズム)」。このテーマには、一人ひとりの意見を尊重し訪問側も運営側も楽しみなが、自分たちには作れない「笑顔」の大学祭を開催したいという、大学祭実行委員の願いが込められている。

一日目は、ステージ、模範店、文化展、自主制作映画上映、応援団演奏、福引大会などが催され、幅広い年齢の人々が大学祭に訪れ楽しんだ。

特設ステージでは、初日に本学軽音楽サークルのDEER DIGGERS、Music Familyの演奏やカラオケ大会、お笑いゲスト「南海キャンディーズ」による爆笑ライブイベントが行われた。会場は大いに盛り上がり、今年から新設した中庭サブステージでも、応援団演奏、格闘技愛好会の実演、三ッ(アカベラサークル)などによる様々なイベントが開催された。

二日目はダンス部によるオープニング・ビンゴ大会、ゲストによるライブ等盛り上がり、午後七時過ぎには約六百発の打ち上げ花火で感動のファイナルを迎え、今年の大学祭は「SMILEIZM」というテーマに終了した。

大邱市の祭りにダンス部が出演
今春の広島フラワーフェスティバル「きんさい」YOSAKOIで金賞を受賞したダンス部(DANCE RAZE)が、二年前と同様に広島市と姉妹提携を結ぶ大韓民国・大邱広域市への派遣舞踊団として選ばれた。彼らは九月二十九日に大邱広域市の最大の市民フェスティバルである「カラフル大邱フェスティバル」に参加・出演し、一万人規模の大邱市民から、あたたかい歓声と拍手喝さいを浴び、無事親善大使としての役目を果たした。

私のゼミナール
ゼミ指導において、私は人のつながりやその関係性について強調することが多い。それは私がかつて会社員としての喜びや失敗を経験してきたことと、あるいはそれを含めた経験が、その根底にあるのかかもしれない。多くの私の支えが、今、私があるという思いは、依然として強い思いがある。したがって、ゼミ生には、人とのつながりの大切さを意識しながら、充実した学生生活を送ってほしいと切に願っている。

私のゼミ時代を振り返ると、ゼミがすべてだったかもしれない。よく学ぶ機会が、卒業式に終わった。この大会は、日本サッカー界における最高位の大会である。本学は一回戦、岐阜県代表の長良川蹴球クラブと対戦したが、惜しくも1-5で敗退した。また、十一月十二日には二〇〇六年度中国大学サッカーリーグ1部で5勝2分0敗の成績をあげ、四

盛りが上がった各会場
趣向のイベントに拍手
去る十一月十一日(土)・十二日(日)の両日、第39回経大祭が開催された。今回のテーマは「SMILEIZM(スマイルイズム)」。このテーマには、一人ひとりの意見を尊重し訪問側も運営側も楽しみなが、自分たちには作れない「笑顔」の大学祭を開催したいという、大学祭実行委員の願いが込められている。

特設ステージでは、初日に本学軽音楽サークルのDEER DIGGERS、Music Familyの演奏やカラオケ大会、お笑いゲスト「南海キャンディーズ」による爆笑ライブイベントが行われた。会場は大いに盛り上がり、今年から新設した中庭サブステージでも、応援団演奏、格闘技愛好会の実演、三ッ(アカベラサークル)などによる様々なイベントが開催された。

二日目はダンス部によるオープニング・ビンゴ大会、ゲストによるライブ等盛り上がり、午後七時過ぎには約六百発の打ち上げ花火で感動のファイナルを迎え、今年の大学祭は「SMILEIZM」というテーマに終了した。

大邱市の祭りにダンス部が出演
今春の広島フラワーフェスティバル「きんさい」YOSAKOIで金賞を受賞したダンス部(DANCE RAZE)が、二年前と同様に広島市と姉妹提携を結ぶ大韓民国・大邱広域市への派遣舞踊団として選ばれた。彼らは九月二十九日に大邱広域市の最大の市民フェスティバルである「カラフル大邱フェスティバル」に参加・出演し、一万人規模の大邱市民から、あたたかい歓声と拍手喝さいを浴び、無事親善大使としての役目を果たした。

私のゼミ時代を振り返ると、ゼミがすべてだったかもしれない。よく学ぶ機会が、卒業式に終わった。この大会は、日本サッカー界における最高位の大会である。本学は一回戦、岐阜県代表の長良川蹴球クラブと対戦したが、惜しくも1-5で敗退した。また、十一月十二日には二〇〇六年度中国大学サッカーリーグ1部で5勝2分0敗の成績をあげ、四

私のゼミ時代を振り返ると、ゼミがすべてだったかもしれない。よく学ぶ機会が、卒業式に終わった。この大会は、日本サッカー界における最高位の大会である。本学は一回戦、岐阜県代表の長良川蹴球クラブと対戦したが、惜しくも1-5で敗退した。また、十一月十二日には二〇〇六年度中国大学サッカーリーグ1部で5勝2分0敗の成績をあげ、四

私のゼミ時代を振り返ると、ゼミがすべてだったかもしれない。よく学ぶ機会が、卒業式に終わった。この大会は、日本サッカー界における最高位の大会である。本学は一回戦、岐阜県代表の長良川蹴球クラブと対戦したが、惜しくも1-5で敗退した。また、十一月十二日には二〇〇六年度中国大学サッカーリーグ1部で5勝2分0敗の成績をあげ、四

CIRCLE・INFO!

サッカー部

全国の舞台踏み大きく成長



平成18年、わがサッカー部は、Jリーグのクラブチームや社会人なども参加する全国規模のトーナメント大会・天皇杯において、県予選を制覇し、広島県代表として本大会に出場しました。本大会では、残念ながら1回戦で元Jリーガーを率いる岐阜県代表に敗北。しかし緊張感に満ちた最高のステージで試合をしたことは大きな経験となりました。もう一度あの舞台に立ちたい。胸に残る悔しさを晴らすため、またチームとしてさらなる成長を遂げるために、日々の厳しい練習を全力でこなしています。

そうした天皇杯をはじめ、総理大臣杯、また全日本大学サッカー選手権大会においても全国大会に出場することが目標です。練習はとにかく走り強化解が中心のメニューですが、時にはサンフレッチェ広島との練習試合が組まれることもあります。第一線で活躍するアスリートと対戦すると、彼らの集中力の素晴らしさを感じます。最後までアスリートを相手に取り組むことを意味する「残心」をチームのモットーに、より高いレベルを目指して頑張り続けたいと思っています。機会があれば、みなさんぜひ競技場まで私たちの試合を観戦に来てください!

練習日/月曜日以外の週6回
時間/平日17:00~19:00 土日10:40~13:40
場所/広島経済大学総合グラウンド
活動/天皇杯、総理大臣杯、全日本大学サッカー選手権大会出場など
部員数/60名



助教授、インドネシア経済、実践・基礎インドネシア語I・IIほか

4年後の成果を目指して

1年次生約1000名が行動計画を記入



効果的な支援体制

サポーターが個別面談

本学では平成十八年度から、四年間の行動目標を学生が自ら記入して効率的なキャリアアップにつなげる「夢チャレンジシート」を導入した。学生たちのキャリアづくりは計画通りに進んでいるのか、取り組みの進捗状況を報告する。

四月に導入した「夢チャレンジシート」。一年次生約千名が自らの行動計画を書き込み、以後、キャリアセンターに常駐する二名の専任サポーターが学生たちと個別面談を行ってきた。キャリアプランの明確な学生には資格の取り方や留学プログラムへの参加方法についてアドバイスを送るなど、学生生活への支援はすでに始まっている。専任サポーターは入門ゼミの教員と連携を深め、個々の学生へのより効果的なサポートの実現に全力を注いでいる。

また、面談では学生間の「マッチング」も進められた。夢チャレンジシートの利点は、学生たちの関心のある事項をデータベースとして管理できる点にもある。例えばベンチャービジネスに興味のある学生が仲間を

シートの確認便利に Webの運用も開始

十二月からは夢チャレンジシートの内容をWeb上でチェックできる「夢チャレンジシートWebシステム」

毎回60名以上が参加 好評だった公開講座



熱心な参加者で盛り上がった公開講座

十一月九日から計四回にわたって、まづくり市民交流プラザ（中区袋町）において、2006HUE広島経済大学公開講座が開催された。今年度は「ビジネスにおけるクリエイティブティ」をテーマとし、本学四名の教員によるさまざまな講義が行われた。参加者の中には毎年参加しているという方も多く、今年度も毎回六十名を超える熱心な参

加者があり、関心の高さが窺われた。第一回は渡辺昌彦教授による「ビジネスの現場におけるクリエイティブティ」の独自の技術、発想で業績を拡大している広島の一の「づくり」企業に焦点をあて、どのような発想、創意工夫をすることによって飛躍することが出来たのかについて考えていった。

第二回は「戦国武将の経済政策」に学ぶクリエイティブティ。中村克洋教授が戦国武将の天下統一の道のりの中からヒントを探りながら、斬新なクリエイティブティを生むために必要なもの、一つとして、発想の転換の大切さについて伝えた。

第三回は竹本栄治講師による「経済史に学ぶクリエイティブティ」。経済史におけるイノベーション（技術・組織革新）に視点を置き、主にヨーロッパの流通、鉄道発展を検証することで、現代につながる鉄道ビジネスの糸口を探った。

第四回はこの講座のコーディネーターである細井謙一助教授が「ビジネスにおけるクリエイティブティ」と題して、前半はこれまでの講座の内容を総括

し、クリエイティブティとはどういうもので、それをビジネスの世界でどう生かしていくべきかという問題について考えた。後半は、前回の講師も交え、パネルディスカッション形式です。会場からの質問に答えながら、これまで四回の講義内容をさらに展開し、クリエイティブティの問題における様々な角度から活発な議論を続けた。

34名が受給者に

18年度の石田学園奨学生



この石田学園奨学金は向学心に富む学生の教育奨励

夢チャレンジシート新展開

夢チャレンジシート これまでの人生を振り返り、自分の適性や関心を明らかにし、そのうえで将来像を考え、大学での行動計画を設定するシート。一年次の入門ゼミで作成する。シートは定期的にチェックして目標の進捗状況を確認し、適宜修正や変更を加え、キャリアアップに役立てる。十二月からWebシステムによる運用も始まった。

学生はパソコン操作の得意な学生を紹介したケースがある。そこでは学生がパソコン教室を開き、地域の方々にコンピュータの使い方を教えるという動きも進んでいる。内容次第では興動館プロジェクトの公募プロジェクトに認定される可能性があり、今後の展開が期待される。

シートが更新されれば、その内容に応じてゼミ担当教員や専任サポーターが学生に最適なサポートを行っていく。十月末で全員との面談はほぼ終了し、十二月には再度学生が自ら入門ゼミの時間内に一年を振り返り、夢チャレンジシートの見直しを行っている。また、専任サポーターは再度学生たちの現状について理解し、サポートを行う予定で、夢チャレンジシートの取り組みはさらに活発化しつつある。

「夢チャレンジシート」一期生が、この先のよりよいキャリアをスタートしていくのか、四年後の成果が楽しみだ。

卒業生は今



企画営業で自らの成長を実感。HUEが今も私を支えています。

ヒューマンアカデミー株式会社 広島校 入学事務局 マネジャー

松岡 崇恵さん 平成15年3月経営学科卒



私が教育の仕事に興味を抱いたのは大学三年生の時です。仕事をやめた母が資格取得を目指して専門学校に通い始めた。そんな、それまでの落ち込み、それまでの元気がなくなり、来年度専門教育の素直らしさを生かす出来事でした。

そんな中私が、数ある専門校の中でもヒューマンアカデミーに就職先と

して選んだのは「なりた自分になって、より良い人生を送りたい」という理念に共感したからです。はじめは福岡校で三年勤務し、平成十八年四月から広島校で働くようになりました。現在、来年度開講する、モジュールデザイン、マンガ・アニメーションカリッジの学生募集を担当しています。

広島は、新規開校校舎なので、何より認知度アップが先決と、連日、中国地方や四国、高校、企業にも挨拶に行っています。PR活動でも、単なる高校に当校の講師陣

を派遣してミニ体験授業を開いたり、興味を持ってもらうための話題づくりに鍵になります。これらのイベントを一つから企画し、実施して好評だった時は大きな達成感があります。昨日までできなかったことが今日できるようになった。そんな成長していく自分を見つめる楽しさがあります。営業と聞くと尻こみする人もいますが、経験せずには避けるのはもったいないと思います。

また、副担任としてホームルームの授業に出るなど、学生とのふれあいも多々あります。欠席しがちな生徒に当初の目標を思い起こさせ、時間の大切さに気付いてもらうといった指導は、相手の人生に影響を与えるので大変な責任を感じます。それだけに卒業していく彼らから「希望どおりの就職ができた」「これから頑張ります」と声をかけられると、言葉にできない喜びに包まれます。

今こそ、日々充実しているもの、入社一年目はすべてにおいて上達が目に見えてくるので、希望の道が必ず見えてくると思います。

■大学院 博士課程前期課程
〔一般選抜〕

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程（研究者養成コース・経済学専修コース）10名（外国人学生・社会人特別選抜を含む）
出願期間	Ⅱ期＝平成19年1月24日（水）～2月8日（木）締切日消印有効
試験日	Ⅱ期＝平成19年2月20日（火）・21日（水）
試験科目	研究者養成コース 書類選考（調査書、健康診断書） 外国語科目：英語、独語、仏語の3か国語のうちから1か国語を選択 ※修業の持ち込み可（電子辞書可） 専門科目：下表の7部門から試験場において1科目を選択 口述試験 経済学専修コース 書類選考（調査書、健康診断書） 外国語科目：英語 ※修業の持ち込み可（電子辞書可） 専門科目：下表の7部門から試験場において1科目を選択 口述試験 理論経済学部門、経済史部門、経済政策（経済政策・社会政策）部門、財政学・金融論部門、統計学部門、経営学部門、地域研究部門の7部門
合格発表	Ⅱ期＝平成19年2月26日（月）午前11時

〔社会人特別選抜〕

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程（経済学専修コース）若干名
出願期間	Ⅱ期＝平成19年1月24日（水）～2月8日（木）締切日消印有効
試験日	Ⅱ期＝平成19年2月21日（水）
試験科目	経済学専修コース 書類選考（調査書、健康診断書） 口述試験
合格発表	Ⅱ期＝平成19年2月26日（月）午前11時

〔学内特別選抜〕

募集人員	3名程度（外国人学生を含む）
出願資格	1.平成20年3月末に本学経済学部を優秀な成績で卒業見込みの者、同年4月に本学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程（修士）経済学専修コースに進学を希望する者 2.3年次前期までの成績が所属学科の上位20%以内に入っていること
出願期間	平成19年1月15日（月）～1月31日（木）締切日消印有効
選考試験	平成19年2月21日（水）・22日（木）
提出書類	博士課程前期課程（修士）経済学専修コース授業履修修、学部3年次前期までの成績証明書、学部学習担当教員等の推薦書、将来計画書
選考方法	提出書類及び学部3年次後期までの成績、筆答試験、口述試験の結果を総合して判定し合格者を決定
合格発表	平成19年2月26日（月）
大学院進学時	書類選考（学部成績・学部4年次での大学院授業科目の成績）

■大学院 博士課程後期課程

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程（研究者養成コース）3名（外国人学生を含む）
出願期間	平成19年1月24日（水）～2月8日（木）締切日消印有効
試験日	平成19年2月20日（火）
試験科目	研究者養成コース 書類選考（調査書、健康診断書） 第1外国語：英語 ※修業の持ち込み可（電子辞書可） 第2外国語：英語、独語、仏語の3か国語のうちから1か国語を選択（出願の際に登録） ※修業の持ち込み可（電子辞書可） 口述試験：修士論文に関する面接
合格発表	平成19年2月26日（月）午前11時

■学部 一般入学試験（1期）

募集人員	経済学部／経済学科115名、経営学科110名、国際地域経済学科15名、ビジネス情報学科25名、メディアビジネス学科15名
出願期間	平成19年1月9日（火）～1月26日（金）締切日消印有効
試験日	試験日自由選択・複数科目併願制 ○同日にも5学科の中で希望する学科を受験することができます 平成19年2月6日（火） 平成19年2月7日（水）
試験科目	英語＝英語Ⅰ・英語Ⅱ……150点 国語＝国語総合（古文、漢文を除く）・現代文……150点 選択＝日本史B、世界史B、地理B、政治・経済、簿記、数学Ⅰ・Ⅱ（集合と論理、場合の数と確率）のうち1科目選択……100点
合格発表	平成19年2月15日（木）午後3時

※試験日自由選択・複数科目併願制一試験日を自由に選ぶことができ、2日間で同一学科を受験することも可能です。（最大5科目100点）

■学部 一般入学試験（2期）

募集人員	経済学部／経済学科20名、経営学科20名、国際地域経済学科5名、ビジネス情報学科5名、メディアビジネス学科5名
出願期間	平成19年2月26日（月）～3月6日（火）締切日消印有効
試験日	平成19年3月13日（火）
試験科目	英語＝英語Ⅰ・英語Ⅱ……100点 選択＝国語総合（古文、漢文を除く）・現代文 数学Ⅰ・Ⅱ（集合と論理、場合の数と確率）のうち1科目選択……100点 ※本学独自の選考試験は実施しない
合格発表	平成19年3月15日（木）午後3時

※複数学科併願制一回の受験で2学科以上出願することが可能です。

■学部 入試センター入学試験（1期・2期）

募集人員	1期＝経済学部／経済学科20名、経営学科20名、国際地域経済学科5名、ビジネス情報学科5名、メディアビジネス学科5名 2期＝経済学部／経済学科10名、経営学科10名、国際地域経済学科5名、ビジネス情報学科5名、メディアビジネス学科5名
出願期間	1期＝平成19年1月9日（火）～1月30日（火）締切日消印有効 2期＝平成19年2月26日（月）～3月6日（火）締切日消印有効
出願資格等	平成19年度大学入試センター試験において2科目以上受験した者 ①英語リスニングを含み、配点250点を200点に換算する ②配点が100点の科目は、200点に換算する ※本学独自の選考試験は実施しない
合格発表	1期＝平成19年2月15日（木）午後3時 2期＝平成19年3月15日（木）午後3時

※複数学科併願制一回の受験で2学科以上出願することが可能です。

■学部 社会人入学試験（2期）

募集人員	経済学部／経済学科・経営学科・国際地域経済学科・ビジネス情報学科・メディアビジネス学科 若干名
出願期間	2期＝平成19年2月26日（月）～3月6日（火）締切日消印有効
試験日	2期＝平成19年3月13日（火）
試験科目	小論文・面接
合格発表	2期＝平成19年3月15日（木）午後3時

■学部 外国人留学生入学試験（1期・Ⅱ期）

募集人員	Ⅰ・Ⅱ期＝経済学部／経済学科、経営学科、国際地域経済学科 若干名 ビジネス情報学科 2名 メディアビジネス学科 1名
出願期間	Ⅰ期＝平成19年1月5日（金）～1月19日（金）締切日消印有効 Ⅱ期＝平成19年2月9日（金）～2月23日（金）締切日消印有効
試験日	Ⅰ期＝平成19年2月22日（木） Ⅱ期＝平成19年2月28日（木）
試験科目	面接
合格発表	Ⅰ期＝平成19年2月15日（木）午後5時 Ⅱ期＝平成19年3月2日（金）午後5時

※複数学科併願制一回の受験で2学科以上出願することが可能です。

平成19年度

学生募集要項

学部及び大学院の募集要項を配付しています。お申し込みは下記あてにハガキ・電話・メールなどで。

〒730-0091 広島市安佐南区祇園五三三七
（学部）大学院 入試広報室 ☎082-817-1113 / Eメール: entrance@hac.ac.jp
（留学生）国際交流室 ☎082-817-1100 / Eメール: int@hac.ac.jp

和やかな雰囲気包まれた。なお、このイルミネーションは12月21日（火）まで毎日17時から22時に点灯される。

当日は、石田恒夫学長の挨拶に続き、地域の方々や教職員約五十名が見守る中、興動館前に設置されたイルミネーションが点灯された。

また、このイルミネーションは、和やかな雰囲気包まれた。なお、このイルミネーションは12月21日（火）まで毎日17時から22時に点灯される。

春のオープンキャンパス
3月25日 10:30～15:30 無料送迎（入通）

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第29巻 第2・3号

(2006年12月末刊行予定)

【論説】
ドゥーレーガー・ヴェルク社の経営パートナーシップ
増田 正勝（教授）
デルタモデルによるITベンダー・ロケットとその外部的要因の検証
山本 雅昭（教授）
再考 日本の直接投資とアジア経済
―国際産業連関による分析―
野北 晴子（助教授）
WTO加盟後中国の対外直接投資導入実態分析と新たな政策動向（下）
田 海波（講師）
Demand Estimation and Household's Welfare Measurement : Case Studies on Japan and Indonesia
Tri Widodo（本学大学院博士課程後期課程）

【研究集会報告】
National Cultures and Management - Different Models and Research Strategies
Antônio Robalo（客員教授）
ポートフォリオの理論と実践
得津 康義（講師）

◆広島経済大学研究論集 第29巻 第2・3号

(2006年12月末刊行予定)

松本憲尚教授 退任記念号
松本憲尚教授 写真・略歴・業績
松本先生と父とわたし 田辺 洋子（教授）

【論説】
韓国 洛東江三角州の開発と保全
―広島 太田川三角州からのメッセージ―
藤原 健蔵（名誉教授）
企業経営における事業継続計画(BCP)の価値
松井 一洋（教授）
An Analysis of Letter Writing Style in Japanese and English and its Relation to Cultural Differences
迫田 奈美子（講師）
シチズンシップを育む教育活動に関する基礎的研究（1）
―C.A.ピアードのシチズンシップ教育論―
志々田 まなみ（講師）
体験型メディアリテラシー教育としての映像制作演習
―メディアビジネスの視点を取り入れた授業設計の事例研究―
林 晶子（講師）

【研究集会報告】
Potential Benefits from Utilization of SME Enabled Web Technologies Within Japanese SSMs and Higher Education
Paul Walsh（講師）
K. I. Tsuye（助教授）
William Faulkner and Quentin Tarantino
―父権不在のテーマ―
大地 真介（助教授）

学生の皆さんへ
「論集」の最新号は、1号館玄関・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の方は、地域経済研究所まで来てください。

クリスマスイルミネーション点灯式は、テーマ「ありがとう」と題し、興動館フロアエクトに集まる学生有志が集まり、日頃の感謝の気持ちを伝えるイベントを企画し、企画されたものである。

当日は、石田恒夫学長の挨拶に続き、地域の方々や教職員約五十名が見守る中、興動館前に設置されたイルミネーションが点灯された。

また、このイルミネーションは、和やかな雰囲気包まれた。なお、このイルミネーションは12月21日（火）まで毎日17時から22時に点灯される。

平成19年度 推薦入試結果報告

11月14日に実施した平成19年度推薦、編入学、社会人（1期）入学試験の結果は、次のとおりです。

平成19年度推薦入学試験結果

入学試験	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
特別	スポーツ	40	54	54	1.0
	特定資格	15	14	14	1.0
	文化・社会	15	8	7	1.0
	海外経路	5	0	0	-
合計	75	76	75	75	1.0
一般公募	経済学科	65	153	153	1.1
	経営学科	60	164	163	1.3
	国際地域経済学科	10	70	70	64.1
	ビジネス情報学科	15	75	75	71.1
	メディアビジネス学科	10	31	31	23.1
合計	160	493	492	419	1.2

平成19年度編入学入学試験結果

入学試験	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
編入学	若干名	1	1	1	1.0

人事

◆新任 事務職
【平成18年9月1日付】
【国際交流室係長】
かねよし はるみ
兼吉 晴美

◆異動
【平成18年9月1日付】
【教育・学習支援センター係長】
木下しのぶ
【総務部管財課】
松田亮

博士号取得
教養教育担当教員
山辺 省太 講師

平成18年7月31日、教養教育の担当教員、山辺省太講師が博士（文学）の学位を取得した。20世紀アメリカ文学とアポカリプス（聖書における黙示録）の研究を続け、名古屋大学に学位論文を提出。結果、学位を取得。

論文題目
「After Babylon: (Im)possibility of the Revelation of God in the Works of Nathanael West, Flannery O'Connor, and Thomas Pynchon」

本学図書館 所蔵書物紹介コーナー 「知の系譜」 No.11

プラトン「全集」ギリシャ語初版 1513年 ヴェニス刊
Platon, ca. 429-347 B.C.
Omnia Platonis opera[Greek]
Venice: Aldus Mantius. 1513 2 Vols.; 28cm

プラトンは、古代ギリシャの哲学者で、これまでのすべての哲学者のうちでもっとも影響力がある哲学者であるといわれている。紀元前427年頃にアテナイ（ギリシャの首都アテネの古い名称）で生まれ、20歳の頃ソクラテスに出会い弟子となり、哲学と対話術を学んだ。また、プラトンは、アカデメイアと呼ばれる学校をアテナイに創設し、哲学を教え、幾何学と天文学を重視した授業をおこなった。アカデメイアは、古代世界最大の名声を誇り、900年もの歴史があり、のちのアカデミーの起源となっている。

プラトンの著作で現存する最古のものは、オックスフォード大学のボードリアン図書館に所蔵されている写本で、895年に制作されたとみられている。ルネサンス末期の15世紀中ごろに活版印刷術が発明され、ギリシャ・ローマ時代の古典文献が次々と印刷され刊行されるようになった。「プラトン全集」が初めて印刷本として登場するのは、1484年である。最初の印刷本はラテン語訳であり、フィレンツェで印刷された。続いて1491年にヴェニスでラテン語訳の全集が刊行されている。

本学所蔵書は、印刷本としては3番目となるが、「プラトン全集」としては最初の完全なギリシャ語版であり、1513年にヴェニスのアルドゥス・マヌティウスによって刊行されたものである。